

共同助成(宮城県遊技業協同組合)

「依存者へのグループミーティング及び野外活動支援」事業

ミーティング、趣味、ボランティアなどを通じて生活リズムを再建し、社会復帰への基盤を築く

東北の最大都市、仙台市で20年にわたって路上生活者や生活困窮者の支援に取り組んできた団体が、パチンコ、パチスロなどの依存症に陥っている生活困窮者に対し、GAミーティング、趣味を増やすレクリエーション、インセンティブ性のある有償清掃ボランティア活動を提供し、依存症克服と自立を支援する活動を実施。



生活のリズムを取り戻すため、定期的にミーティングやレクリエーションを開催



行動依存で生活が破綻した困窮者に生活リズムを取り戻すための活動を提供

「仙台夜まわりグループ」は、2000年に仙台市内で路上生活者の支援活動を開始し、2004年にNPO法人格を取得した団体である。路上生活者や生活困窮者の自立に向け、あらゆる支援を包括的に実施しているが、特に東日本大震災後は被災者支援も含めて実施し、周辺住民への炊き出し、避難所への物資の提供・炊き出しなど、震災の影響による生活困窮者への支援活動を総合的に行っている。また、定期的に仙台市の担当部署との情報交換や懇談会を行うなど、官民一体となった生活困窮者支援活動を構築できるよう尽力している。

支援している人数は年間100人以上になるが、活動が続けるなかで、ホームレスなどの生活破綻した人の多くは、疾病、障がい、依存などが原因であり、その中でもパチンコ、

パチスロなどの行動依存が群を抜いて多いことに気づいた。依存が重度と思われた場合には依存症治療専門医に繋がっているが、病院での治療はGA(ギャンブラーズ・アノニマス)ミーティングと月数回の問診が中心で、デイケアもなく、その他の時間は自助努力に任されている。そのため、どうしても生活リズムの荒廃が見られた。

そこで同団体では、POSCからの助成を活用して、行動依存の問題を抱えた人々の生活リズムの再建を基本とする事業を企画した。定期的集まり、GAミーティングを含む関連支援として克服すべき課題を考えたり、趣味に没頭したり、就労意欲も減退させないために有償ボランティアをしたりしながら、生活リズムを取り戻すための活動を実施した。この事業は同団体が運営する簡易宿泊所の入居者やその卒業生などの生活困窮者が主たる対象だったが、活動に参加した人の数は延べ800人弱となった。

ミーティング・趣味・ボランティアで本人の自覚を促して生活を見直す

具体的な活動は、以下の3つが主なものであった。

①GAミーティング(第2火曜日午後1時～3時、月1回／参加者延べ83人)：依存当事者同士や克服卒業生が心の扉を開いて話し合い、克服のきっかけや依存症の本質を知り、どのように克服するかを学ぶ。

②室内／野外レクリエーション(第4火曜日午後1時～3時、月1回／同96人)：温暖な場合は野外で軽運動をし、極暑・厳寒期には室内での趣味活動を行うことにより、時間の使い方を体験する。

③市内街路／公園などの清掃活動(第2、3、4土曜日午前9時～10時、月3回／同612人)：就労が制限された治療期間中に定期的に体を動かし、対価を得て、就労意欲を失わないための有償ボランティアで自分は社会の一員として役に立つ活動をしているという自信を得ていくことを目的として実施する。

「依存症対策の重要性については以前から意識していましたが、法人予算に余裕がなく、自費持ち出しでGAミーティングのみを長年行っていました。POSCの助成を得て各当事者の生活の見直し、生活リズムの取り戻しなどの支援活動を本格的に開始できました。特にインセンティブを持たせた有償ボランティア活動は、単調になりがちな生活に毎週決まった時間に体を動かすという生活リズムの取り戻しに大きな役割を果たしたと思います。依存症との戦いは、もちろん医学的な治療は必要ですが、自分の生活や社会との関係性などを本人が自覚的に考え直す必要があります。今回の事業は、そうした意識づけに貢献したのではないかと考えています」と、担当者は振り返る。

宮城県遊技業協同組合より

依存症克服と自立を支援する活動に賛同させていただきました。今後も社会的な課題に対し積極的に支援していきたいと思っています。



就労意欲を減退させないために、清掃活動など有償ボランティアを実施



助成団体:特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ

<http://www.yomawari.net/>



POSCのギャンブル依存対策および助成に敬意を表します

生活困窮の一因である依存症は、本人自身の問題として支援からも目を離されてきた現状がありました。二度と困窮へと戻らないためにも、落ち着いた環境で克服への歩みが必要です。いただいた助成はGA活動ほか、楽しくお互いを励まし合いながらのレクリエーションやインセンティブのあるボランティア活動に役立てています。

特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ
理事長 今井 誠二さん